

吉野川市 議会だより

新しく完成した
吉野川市環境センターも
見えるね



吉野川市公式キャラクター
ヨッピー・ピッピー



議会HPは
こちらから確認！

令和7年9月議会定例会

令和6年度決算認定……………	2
審議結果一覧……………	3
委員会審査……………	4
代表質問……………	8
一般質問……………	12
こどもDo まんなか会議……………	14

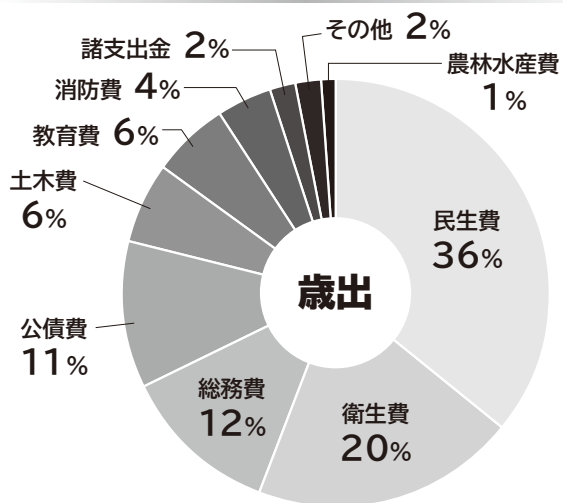


令和6年度（2024年度） 決算を認定しました。

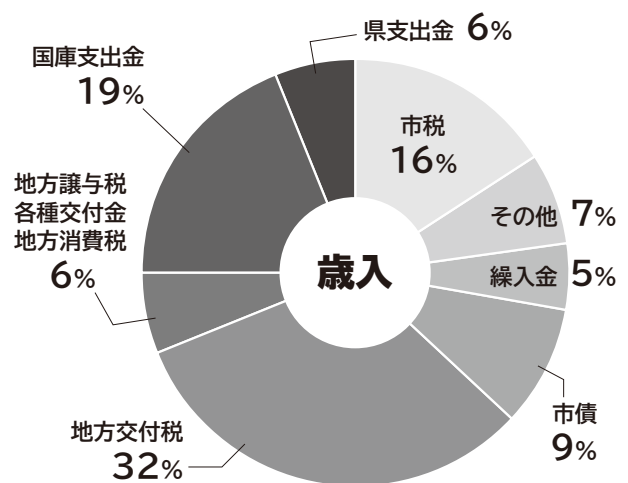
令和6年度一般会計および特別会計等の決算議案については、決算特別委員会に付託され9月10日に委員会審査を行い、9月24日の本会議で、各決算議案を原案どおり認定しました。

一 般 会 計

歳出合計 239億8,255万5千円



歳入合計 252億8,221万6千円



特 別 会 計

国民健康保険 特別会計	歳入	42億6,726万7千円
	歳出	42億1,018万1千円
介護保険 特別会計	歳入	60億2,384万円
	歳出	58億6,626万2千円
後期高齢者医療 特別会計	歳入	7億7,105万円
	歳出	7億6,750万円

企 業 会 計

水道 事業会計	事業収益	6億3,303万1千円
	事業費用	6億3,750万6千円
下水道 事業会計	事業収益	11億4,749万6千円
	事業費用	11億1,463万円

決算認定ってなんだろう？

地方自治法第233条では、市長は決算書類に監査委員の審査意見を付けて、次の通常予算を審議する会議までに、議会の認定に付さなければならないとされています。

この規定に基づき、令和6年度の各会計の決算認定などの議案が9月定例会に提出されました。
なお、企業会計は、地方公営企業法第30条に基づく決算認定となります。





令和7年9月議会定例会

議案の審議結果

付託先の略称

- 即 決…本会議で審議
- 総 務…総務常任委員会で審議
- 文教厚生…文教厚生常任委員会で審議
- 産業建設…産業建設常任委員会で審議
- 決 算…決算特別委員会で審議



	付託先	議 案 名	結 果
報告	即決	令和6年度吉野川市財政の健全化判断比率について	報告
	即決	令和6年度吉野川市公営企業会計の資金不足比率について	報告
決算	決算	令和6年度吉野川市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
	決算	令和6年度吉野川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
	決算	令和6年度吉野川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
	決算	令和6年度吉野川市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
	決算	令和6年度吉野川市水道事業会計決算認定について	認定
	決算	令和6年度吉野川市下水道事業会計決算認定について	認定
条例	総務	吉野川市ごみ処理施設等条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	文教厚生	吉野川市鴨島老人福祉センター条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	文教厚生	吉野川市川島老人福祉センター条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	文教厚生	吉野川市城山老人福祉センター条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	文教厚生	吉野川市山川老人福祉センター条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	文教厚生	吉野川市飯尾敷地コミュニティセンター条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	文教厚生	吉野川市公民館条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	文教厚生	吉野川市文化研修センター条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	文教厚生	吉野川市アメニティセンター条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	文教厚生	吉野川市美郷ほたる館条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	文教厚生	吉野川市ふるさとセンター条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	文教厚生	吉野川市体育館条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	文教厚生	吉野川市総合スポーツ運動場条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	文教厚生	吉野川市夜間照明施設条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	文教厚生	吉野川市屋外体育施設条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	文教厚生	吉野川市高越弓道場条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	文教厚生	吉野川市交流センター条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	文教厚生	吉野川市多目的グラウンド条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	文教厚生	吉野川市都市公園条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	文教厚生	吉野川市学校施設管理条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	文教厚生	吉野川市社会体育施設運営審議会条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	文教厚生	吉野川市民プラザ条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	産業建設	吉野川市農業集落排水施設条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決
予算	総・文・産	令和7年度吉野川市一般会計補正予算（第2号）について	原案可決
	総務	令和7年度吉野川市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
	文教厚生	令和7年度吉野川市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
その他	産業建設	市道路線の認定について	原案可決
人事	即決	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
	即決	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
	即決	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
	即決	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
	即決	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
	即決	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意
	即決	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意

決算特別委員会

9月定例会では、決算特別委員会を設置し、9月10日に審査を行いました。

決算特別委員会

委員長	塩田 智子
副委員長	岡田 光男
委員	戸出 敏夫
	阿佐 勝彦
	山側紗矢香
	栗原 五男
	谷田 憲二

◇市長提出議案6件を審査

●令和6年度吉野川市一般会計歳入歳出決算認定について

問 令和6年度決算における市債と基金の推移は

答 市債については、前年度から約1億5000万円減の208億6987万8千円となり、市発足以降最少額となっている。

基金については、新ごみ処理施設整備事業に充てるため、環境施設整備基金を5億2000万円取り崩したことにより、前年度から8億3007万6千円減の108

億2542万円となった。

問 生活保護費について、本市では適正に事務処理が行われているのか。

答 生活保護費の総事業費から保護費返納金および徴収金を差し引いた額が基準額となり、この基準額の4分の3が国庫負担金となっている。

本市においては、適正な基準額で国への申請、報告を行っている。

問 日本フネン市民プラザ内にある未就学児の遊び場、ちびっこプラザを、昨年から週1日、

市外の方も利用可能としたが、その状況と利用者数は。また、市外の方の利用可能日を増やしていく考えはあるのか。

答 昨年7月から、毎週水曜日に限り市外の方も利用可能とした。昨年度9カ月の市外利用者数は、277名であった。

開始してまだ1年が経過したところであり、本市の子育て世帯の方に快適に利用していただきたいことから、現在のところ増やすことは考えていない。

問 ふるさと納税寄附金について、寄附件数5830件、

寄附金額8381万6900円は

前年に比べてどうだったのか。

また、昨年10月からふるさと納税支援業務を委託した結果は。

答 前年と比較し、寄附件数は590件の増、寄附金額は1654万9900円の増となっており、8年ぶりに本市の寄附金最高額を更新した。

業務委託の結果について、ポータルサイトの充実に加え、新規の返礼品や事業者の追加に注力したことから、年度をまたぐが、本年8月末時点での返礼品数は、514品増加し851品、事業者数は22件増加し82件となった。

問 昨年、市女性職員によって結成された防災女性チーム、『チームレインボーSAAーよしのがわ』は、女性視点での防災施策を取り入れることができると思うが、サポートを行ったのか。

答 チームレインボーSAAーよしのがわは、年度途中に結成されたため、令和6年度は予算計上していなかった。

令和7年度については、イベントや防災訓練において活用するための啓発グッズ作成費として、消耗品費を予算計上している。

問 流域治水費について、昨年度の実績は。

答 昨年度は2回の洪水調整を行った。

台風10号に対して、大正池、塚池、敷地池、一ノ坪池の4つの池で事前放流、直前放流を実施し、約9万8000m³の洪水調整量を確保した。

台風20号に対しても、同じく4つの池で約4万8000m³の洪水調整量を確保している。

問 学校給食センター事業について、市内で生産している食材は地産地消として確保できたのか。

答 市内業者や市内生産者からの食材購入については、主に肉、野菜、米、調味料の一部などとなっており、できる限り地産地消の食材の確保に努めている。

問 未来へつなぐ就学応援給付金事業について、令和6年度の実績と給付金交付決定までの流れは。

答 令和6年度は9名の申し込みがあり、昨年9月に作文と面接による選考試験を行った。その後、選考委員会を開催し、5名の方を決定した。

問 倉屋上防水・外壁改修等工事について、1億9629万6100円が投じられているが、庁舎本館の防水等の保証期間はどの程度あるのか。

答 庁舎本館外壁については、防水性を有した外壁タイル剥落防止工法を採用し、庁舎本館屋上についてはウレタン塗膜防水工法により改修等を行い、施設の長寿命化を図ったところである。

保証期間については、防水保証、剥落保証とも10年間の保証となっている。

問 しあわせ住まいづくり支援事業補助金について、新築、購入の件数の内、転入加算により本市に転入された人数は。

答 新築の加算について、9件すべてが転入加算であり28人の方が転入している。

購入の加算については、5件の加算のうち4件が転入加算であり、8人の方が転入し、合計36人の方が本市に転入している。

問 避妊・去勢手術事務委託料について、年間の実施件数は。

答 年間30頭となっており、1頭あたり5000円を補助

している。

毎年、応募が非常に多く、昨年は約70頭の応募があったため、抽選を行った。

問 有害鳥獣捕獲等委託料についての捕獲頭数は。また、前年度と比較しての増減は。

答 捕獲頭数は、主なものでイノシシが216頭で前年度比較187頭の増、シカは767頭で102頭増、サルは22頭で1頭の減となっている。

金額では228万5950円の増となっている。

問 侵入防止柵等購入補助金について、地区別での件数は。

答 補助実績は、鴨島地区5件、川島地区3件、山川地区5件、美郷地区2件となっている。

問 ひとり親家庭高等職業訓練促進費についての概要と利用者数は。

答 ひとり親が指定された資格を取得するために、6カ月以上養成機関で修業される場合に支給されるものである。

支給期間は最長4年であり、市町村民税非課税世帯の方で月額10万円、最終1年は月額14万円の支給となっている。

市町村民税課税世帯の方は、月額7万5000円、最終1年は11万5000円の支給となっている。

令和6年度は5名の方が制度を活用し、資格取得を目指している。

●令和6年度吉野川市水道事業会計決算認定について

問 使用料の回収も含めた収入増の取り組みは。

答 利便性向上を目的に、キャッシュレス決済の選択肢を拡大し、本年7月からファミペイによる決済を導入した。

未払い料金への対応については、従来どおり督促や催告などの手続きを適正に実施するとともに、必要に応じて給水停止措置を行っている。

これらの対応については、相手方の事情を十分に確認の上、丁寧な説明と対応を心掛けています。

委員会審査

3つの常任委員会において付託された議案の審査を行いました。

主な審査内容を抜粋して掲載しています。審議結果の一覧は3ページをご確認ください。

総務常任委員会

◇市長提出議案3件を審査

●吉野川市ごみ処理施設等条例の一部を改正する条例制定について

問 吉野川市環境センターの現在の状況と今後の予定は。

答 8月からごみを燃やしての試運転を開始しており、現在では定格となる1日16時間、42トンの焼却も済ませている。

10月31日の引き渡しに向けて、着々と準備を進めている。

●令和7年度吉野川市一般会計補正予算（第2号）について

問 PCB（ポリ塩化ビフェニル）の処理について、単独で運搬すると300万円かかり、他市町村と併せて運搬すると金額が減ることであるが、相手方はあるのか。

答 県の担当課によると、複数の団体があると聞いている。

文教厚生常任委員会

◇市長提出議案23件を審査

●吉野川市飯尾敷地コミュニティセンター条例の一部を改正する条例制定について ほか14件

（公の施設の使用料の見直し関係）

問 使用料の改定を行った各施設はそれぞれ設置目的や利用の用途が異なると思われるが、どのように施設の使用料を算定したのか。また、特徴などはあるのか。

答 現状では、施設の規模に応じた統一した料金設定となっていない上に、午前と午後での1時間単価に相違があるなど、不均衡が生じていた。

そのことから、不均衡解消を第一に考え、施設の形態が類似しているものを同類と区分し、さらに床面積等、同規模のものを整理した上で、管理原価から算出した。

また、施設ごとに1時間あたりの基本使用料に改めるとともに、特別な利用に關しての取扱事項を備考にまとめて規定した。

問 令和8年4月1日以降に適用となる新使用料について、利用者の負担はどの程度増加するのか。

答 使用料改定による利用者の急激な負担増と利用率低下抑制のための激変緩和措置として、吉野川市公の施設の使用料見直しに關するガイドラインでは、原則

改定の上限を1.2倍としている。

そのため、ほとんどの施設において現行使用料のおおむね1.2倍の改定となるが、現行の使用料が市内または近隣自治体の類似施設と比較して著しく低い場合は、1.2倍の上限を超える改定となる施設もある。

また、施設によっては以前より柔軟な貸出が可能となるため、負担が変わらない場合や、同類、同規模施設として使用料を統一することなどで負担が減少となる施設もある。

問 公の施設の使用料について、今後定期的な見直しはあるのか。

答 ガイドラインでは、原則5年ごとに料金の見直しを行うこととしているが、社会状況に大きな変化がある場合や施設の運営方法を変更する場合などは、5年の周期を待たず適宜見直しを行うこととなっている。

今回の新使用料の適用は、令和8年4月1日で、次回の見直しは令和13年4月1日となる見込みである。

●令和7年度吉野川市一般会計補正予算（第2号）について

問 阿北特別養護老人ホーム組合について、施設の耐用年数が迫っていることや、職員の退職金に關わることなどに対する市の方針は。

答 組合として中期経営計画を策定しており、その中で施設のあり方も含めてどのように取り組んでいくのかを幹事会で議論いただいているため、その中でしっかりと考えていきたい。

施設については、耐震基準を満たしているため、大規模改修は必要ないと聞いている。

長寿命化対策に取り組みながら、多くの経費をかけずに経営できる方法をしっかりと考えていきたい。

産業建設常任委員会

◇市長提出議案3件を審査

●令和7年度吉野川市一般会計補正予算（第2号）について

問 河川維持修繕費と緊急浚渫推進事業債は、何か関係はあるのか。

答 本年度計上している手数料については、緊急浚渫推進事業債には該当しない単独の事業

となっている。

問 圃場整備について、権利者数が増加したとのことであるが、どういったことなのか。

答 県は、権利者の当初想定を100人と見込んでいたが、相続登記未了地などが多かったため、権利者数が420人に増加したということである。

人事案件

◇次の人事案件が提出され同意しました。

●固定資産評価審査委員会委員

佐野 勝代（鴨島町西麻植）

伊勢 英利（山川町宮北）

喜多由実子（川島町川島）

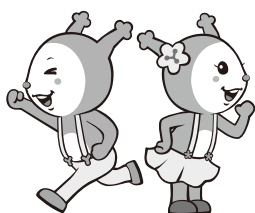
岡田 一則（鴨島町敷地）

天野 宣正（美郷字宗田）

●人権擁護委員

森本 光枝（鴨島町山路）

阿部 和剛（川島町栗村）



ここが聞きたい

代表・一般 質問

誌面の都合により要旨のみを掲載しています。
●の質問を中心に取り上げました。

9月議会定例会では8名の議員が代表・一般質問を行いました。

代表質問

戸 出 敏 夫 (吉野川政友会いとは)

- 財政状況について
- 防災拠点となる庁舎機能の強化について
- Mt. 高越ヒルクライムレースについて
- 空き家対策について
- こども食堂ネットワーク化について
- 人権教育・啓発について
- 健康寿命延伸対策について

塩 田 智 子 (薫風会)

- 庁舎施設整備について
- こどもDoまんなか会議2025について
- ふるさと納税について
- 本市における火葬業務のあり方について
- 通学路の交通安全対策推進について

田 村 修 司 (真誠会)

- テニス環境の整備を通じた市民スポーツ振興の促進について
- 自治会加入率の現状と今後の対策について
- 高齢者の外出支援の現状と課題について
- 職員の軽装による通年勤務の推進について
- おむつのサブスクリプションについて
- 吉野川市の教育戦略について

近 久 寛 (芳藍麻植会)

- 水資源の確保について
- 吉野川市幼少架け橋期プロジェクトについて
- 来庁者の満足度向上について

一般質問

相 原 一 永

- フューチャー・デザインの積極的な活用について
- CO²排出量の削減と資源循環型社会の実現に向けた取り組みについて

山 側 紗矢香

- 保育園・認定こども園の給食費無償化について
- AEDの適切な使用方法や周知等について

中 西 渉

- 小中学校の水泳授業の今後について
- 長期休暇中における放課後児童クラブへの昼食提供について
- 本市におけるジェンダーギャップ解消に向けた男女共同参画基本計画の実行性と今後の展開について

阿 佐 勝 彦

- 選挙における投票率向上について
- 上下水道について
- 河川管理について



戸出 敏夫
吉野川政友会いろは

問

防災拠点となる庁舎機能強化について、南海トラフ地震や激甚化・頻発化する風水害への対応は

答

庁舎の高圧受変電設備と合わせ、非常用電源の浸水対策および稼働時間の確保を図る

問

停電や浸水など被災時において、災害対策の拠点となる庁舎機能の強化はすぐにも解決すべき重要課題である。

南海トラフ地震や激甚化・頻発化する風水害への対応として、非常用電源設備を含めた庁舎電源の整備は。

答

庁舎本館は建設後30年が経過し、高圧受変電設備や非常用電源設備などの電源設備は更新時期を迎えており、庁舎本館、東館とも電源設備は国土交通省が公表している吉野川浸水想定区域に設置されている。また、非常用電源設備については、本館と東館にそれぞれ1基、電算システム用として独立した設備1基の合計3基を設置しているが、庁舎本館および電算システム用の連続運転可能時間が約7時間であり、国が要請する72時間を満たしていない。これらのことから、庁舎は災

害対応の重要な拠点となる施設であることから、今後発生が懸念される南海トラフ地震や激甚化・頻発化する風水害などの自然災害に対応し、業務継続性確保のため、高圧受変電設備と非常用電源の浸水対策および稼働時間の確保を図るものである。

想定される浸水深より高所になるよう、非常用電源の浸水対策として非常用電源設備を1基に集約して更新し、庁舎東館の駐輪場スペースに整備する防災倉庫棟を活用する。庁舎本館の高圧受変電設備は、既存の配線等最大限有効活用するため、新たに更新し、庁舎本館北側と公用車駐車場に架台を設置する。

非常用電源は、燃料供給なしで稼働可能となるよう、備蓄設備も含めた整備を行う。

【その他の質問】

問

令和6年度決算と今後の財政状況の見通しは。

答

単年度の実質的な収支を表す、実質単年度収支は4年連続で黒字となった。

国勢調査後の人口減少による普通交付税への影響も懸念されるが、引き続き吉野川市行財政改革プラン2024を着実に実施し、持続可能な行財政基盤の確立に取り組んでいく。

問

管理不全空き家の対応は。

答

本年度22件に適正管理の通知を送付した。来年度、空き家実態調査を行い所有者への周知や啓発を推進し適正な空き家対策に取り組む。

問

Mt. 高越ヒルクライムレースの応募状況と期待される効果は。

答

9月4日現在105名の応募となっている。定員に達していない理由は、中・上級者向けのコースのため慎重に検討する方が多いと推察している。参加者等による宿泊施設や飲

食店の利用など一定の経済効果が期待される。

問

こども食堂のネットワーク化への市の関わりは。

答

行政主導ではなく、団体の自発的な取り組みによりネットワーク化されることが望ましいと考えている。

問

人権教育・啓発について、現状と今後の取り組みは。

答

現在、人権施策推進計画に基づき、多角的に取り組んでいる。今後も地域連携の強化と多様な世代を対象に、より効果的な各種施策を推進する。本年度は、人権フェスティバルを初めて開催する。

問

健康寿命対策のため管理アプリを導入しては。

答

県が健康意識向上を目的としたスマホアプリ『テクとく』を活用しており、市の取り組みとも連動しながら健康管理、運動習慣の定着など県と連携した取り組みを推進する。

塩田 智子
しおた ともこ
薫風会



問

こどもDoまんなか会議で子どもたちから出された意見を次年度予算へ反映していく考えは

答

子どもたちの意見を反映した施策について検討していきたい

問

2023年度から開始したこどもDoまんなか会議では、子どもたちから吉野川市へ数々の提案をいただいている。

市長は、本市の厳しい財政状況の中、こどもDoまんなか会議で出された意見から毎年予算化しており、2023年会議ではこども食堂運営費補助金の創設、2024年会議ではお店開き応援事業の拡大など、子育て支援に対する強い情熱を感じている。

会議に参加した子どもたちも、自分たちの意見が採用され、吉野川市がよくなるかもしれないと思えば、大きな夢を描くことができ、参加者が増える可能性もある。

今回の2025年会議でも、子どもたちから数多くの素晴らしい意見や提案があった。

市長の子どもをまんなかに据えた政策スタンスとして、来年

度以降も、こどもDoまんなか

会議で提案された子どもたちから出された意見を次年度予算へ反映していく考えはあるのか。

答

本市のこどもまんなかプロジェクトとしては、こどもDoまんなか会議とこどもDoまんなか作文により、毎年多くの子どもたちからご意見やご提案をいただいている。

会議では、参加者全員と膝を突き合わせ、作文では、一人一人の作文を大変興味深く読ませていただいている。

子どもたちの豊かな発想やアイデアの柔軟性には、しばしば驚かされるところであり、毎年数多くの市政に対するヒントをいただいている。

子どもたちの意見を市政に生かしていきたいという思いは、年ごとに強くなっている。

厳しい財政状況の中ではあるが、子どもたちの意見を反映した施策について検討していきたい

い。



【その他の質問】

問 庁舎施設整備の概要と今後の整備計画は。

答 庁舎本館高圧受変電設備は、庁舎本館北側の公用

車駐車場に架台を設置し更新・高所化を行う。

庁舎東館高圧受変電設備および非常用電源設備は、新たに整備する防災倉庫棟の屋上に設置

する。

今後財政状況を考慮し、計画的に進めて行く。

問 ふるさと納税の本年度の寄附状況と寄附額増への

取り組みは。

答 昨年度に続いて本年度も、寄附総額は最高額を

更新する見込みである。

生産者のこだわりや本市の魅力を反映した返礼品を開発・拡充し、増加につなげる。

問 火葬業務の今後のあり方を検討する考えは。

答 多方面からの検証を早急に進めていく。

問 交通安全対策モデル地域の取り組みとモデル地域以外での取り組みは。

答 人優先の安全・安心な通行空間整備のさらなる推進を図るとともに、モデル地域以外の地域でも通学路の交通安全対策を推進していく。



田村 修司
たむら しゅうじ
真誠会

問

市立川島中学校のテニスコートの整備について

答

クレーコート環境を整え4面利用可能にする

問

市立川島中学校には、オムニコート2面とクレーコート2面の計4面が整備されている。しかし、現状はクレーコートが十分に整備されておらず、実質的に使用できるのはオムニコート2面のみとなっている。

このテニスコートを適切に整備し、4面すべてを市民に開放することにより、本市のテニス環境は飛躍的に向上し、市民スポーツの振興に大きく寄与するものと考えている。

現在利用されていないクレーコートを、市民の方、特に小学生が利用できるように整備してはどうか。

答

市立川島中学校のテニスコートについて、2年ほど前からソフトテニス部の部員減少によりオムニコート2面だけの練習となっている。

現在は、クレーコートのネットを外しており、使用していない状況である。

今後、クレーコートを含めた4面が利用可能となるよう、改めてネットを張るなど環境を整え、利用者の意見も伺いながら対応したい。

問

阿波市では、一般開放されているテニスコートに夜間照明が完備されている。

一方、本市においては一般開放されているテニスコートで、夜間照明が設置されているのは1カ所のみであり、その照度も低いとのことである。

答

これらの現状と阿波市との大きな違いについて、市はどのように認識しているのか。

阿波市に整備されているテニスコートは、比較的新しく、コート数も多く、夜間照明や駐車場も確保されており、小規模の大会や日々の練習等に適したつくりとなっている。

川島城テニス場夜間照明につ

いては、照度が低いため応急措置として4本ある照明の一部をLEDに改修している。

残りの水銀灯の改修についても、順次対応していく。



【その他の質問】

自治会加入増に向けての今後の対策は。

ご紹介いただいた守山市などの先進地自治体の取り組みの中で、本市で取り組めることはないか、まずは調査研

究していきたい。

高齢者等外出支援タクシー料金助成事業を市内全域に拡大してみてもどうか。

すべての高齢者の日常生活の利便性の向上につながるより良い制度となるよう検討したい。

職員の軽装について、冬もノーカラーを導入してみてもどうか。

職員の意向を調査し、導入の是非について検討したい。

市内の認定こども園におむつのサブスクサービスを今後導入してみてもどうか。

保護者へのサービス向上と保育業務の効率化につながるサービスであれば、導入に向けさらなる検討を進める。

本市の市立中学校以外に通学する生徒数は。

現在、120名の生徒が通っている。

現在、120名の生徒が通っている。

問

水道施設の所有状況と管理は

答

市内に9施設運営しており、引き続き適切な管理に努める

近久 寛
ちか ひさ
ひろし
芳藍麻植会



問

世界の各地で水資源をめぐる争いが起きていることが報じられている。

我が国においても水源地をはじめ、国の防衛上重要とされている施設周辺の土地や建物を、外国人が取得していることが問題視されている。

令和7年6月定例会において「水源地となる山林の買い取りなどについては、行政として注視していく必要がある」との答弁があった。

しかしながら、地方行政機関において、農地以外の土地や建物を外国籍の方がどの程度所有しているかの調査が難しく、本市においても把握できていないのが現状である。

本市における水道施設の所有状況と管理はどのようにしているのか。また、令和4年度より山川方面で水道水の供給量が低下する懸案があったが、その点はどうなのか。

答

市内で9カ所の浄水場を運営している。

そのうち8施設の土地が市の所有もしくは河川であり、1施設が山間部の民有地を借地している。

また、配水池は市内に30施設を配置し、そのうち28施設が市の所有となっており、2施設が美郷地区の民有地を借地している。

今後の施設管理についても、水道施設は日常生活に欠かせない重要な社会インフラであることから、引き続き適切な管理に努める。

令和4年度より懸案となっていた山川浄水場の取水井戸の水位低下については、新たな取水井戸の築造が完了し、本年5月に通水を開始以降、問題なく稼働している。

問

徳島県では徳島県豊かな森林を守る条例や徳島県生活環境保全条例が制定されて

いる。

生活の基礎を守るため、自然環境の維持や生態系の保護、持続可能な未来のために取り組むことが大切であると考える。

本市においても、水源地としての機能を有する土地の売買の規制について、条例を制定するべきでは。

答

徳島県では、森林を適正に管理するとともに無秩序な開発から守るため、豊かな森林を守る条例を制定しており、森林管理重点地域として、特定の行為を制限して管理すべき地域をそれぞれ指定している。

土地の所有権移転契約を締結する際、契約日の90日前までに知事に届け出ることが義務づけられている。

また、土地の利用が森林の水資源や保全機能に与える影響について調査させることが可能と規定している。

【その他の質問】

これらのことから、水源地としての機能を有する土地の売買規制について、県条例において一定の制限が課されていると認識しており、全国的な課題であることから、まずは国の動向等を注視する。

問

吉野川市幼小架け橋プロジェクト推進に向けて、教育長の考えは。

答

人づくりを基盤とし、本市の子どもたちが夢や志を持ち未来に向かってたくましく成長する人材の育成を目指してしっかりと取り組んでいきたい。

問

来庁者の満足度向上のため、安心して利用できる授乳室を設置する考えは。

答

庁舎本館1階のレイアウトの変更の際、来庁者の満足度向上に向けボックス型個室授乳室も含め検討する。



あいはら なが
相原 永

問

答

フューチャー・デザインの活用
についての見解は

職員研修に導入し、意識醸成を
図る計画を進めていく

問
*フューチャー・デザインの活用は、将来世代の視点を取り入れた抜本的施策と行動計画を導き、持続可能なまちづくりに有効な手法である。具体的かつ効果的な行動計画の策定につながり、大変有意義であると考えが見解は。

答
ザインの手法を取り入れた研修が実施できるよう計画を進めていきたい。「未来への責任」は、現役世代である「我々の責任」であることを強く意識しながら、これからも持続可能な行政運営に努める。

【その他の質問】

問
全国では、CO2排出量の削減と資源循環型社会の実現に向けた取り組みの一環として、廃食用油をバイオディーゼル燃料への転換が進んでいる。

答
本市における、廃食用油の活用方法の高度化と市民周知および参加促進についての見解は。

問
廃食用油の活用方法の高度化について、県内自治体の取り組み状況や民間企業との連携事例などの情報収集、国の補助金制度を調査し、本市の可能性について財政面、環境面など多方面から検討したい。

答
市民周知と参加促進については、広報誌およびホームページ内の新ごみ処理施設の専用サイト内などで、わかりやすく発信したい。

問
本市では、保育園・認定こども園の給食費の完全無償化が実現されており、県内トップクラスである。



やまがわ さや か
山側 紗矢香

問

答

保育園・認定こども園の給食費無償化の補助金を増額する考えは

物価が高騰していることから補助増額の必要性について調査する

問
本市では、保育園・認定こども園の給食費の完全無償化が実現されており、県内トップクラスである。

答
その一方、運営を担う保育園・認定こども園からは、『給食は子どもの成長に欠かせないものであり栄養面や提供量に配慮していかなければならないが、施設の運営は年々厳しさを増している』との声があった。

問
現在、国においては物価高騰を受け、低所得世帯を対象に副食費補助が増額されている。

答
これは物価高騰の影響であると考ええるが、本市の補助金額については据え置かれたままである。

問
物価高騰の影響は、低所得世帯に限らず全世帯に及ぶものであることから、本市においても現行の補助金額を見直し、増額を検討するべきではないか。

答
本市は保育園・認定こども園の給食費無償化を、昨年6年9月から開始し、1年が経過した。

問
給食費無償化については、令和5年度から公立・私立合同園長会でも協議を重ねてきたが、当時の各園で

の主食費および副食費の保護者負担額に、物価高騰の影響などを加味して子ども1人あたりの補助額とした。しかしながら、米不足による価格高騰が長引き収束の気配が見えず、その他の食品においても価格が高騰していることから、補助の増額の必要性について調査する。

【その他の質問】
問
本市が設置しているAEDのタイプは。また、AED設置場所にイラスト等でわかりやすくした使用ガイドを掲示しては。

答
現在、小児成人兼用が50台、小児・成人用パッドを付け替えて使用するタイプが7台となっている。使用ガイドについては、今後、調査研究し、関係部署と協議する。

問
AEDの設置場所を周知する情報発信の充実。

答
ホームページで全国AEDマップのリンクを張り周知しているが、よりわかりやすくするためトップページ上にリンクを張り、スマートフォン用の二次元コード等を掲載するなど順次対応していく。



なかにし わたる
中西 航

答

問

放課後児童クラブでの夏休み食提供の成果は

多くの利用があり、事業の目的に対し一定の効果があつた

問 本市初の取り組みとして、長期休暇中における放課後児童クラブでの食食提供を実施した。

多くの保護者の負担を軽減でき、子どもたちの成長や栄養面にとっても非常に有益な子育て支援サービスであると考えます。

食食提供開始後、初めての夏休みが終わったが、事業の成果は。

答 本年度から、放課後児童クラブを利用する保護者の子育てと就労の両立支援として、長期休暇中における食食提供を開始し多くの方に利用いただいた。

本市では18の放課後児童クラブが運営されており、登録児童数は633名となっている。

そのうち、449名の児童の保護者が、スマートフォンから注文できる食食提供アプリに登録している。

期間中の注文総数は、お盆期間を除いた計24日間で3489食、1日平均約146食の利用があつた。

注文総数3489食のうち、1食300円の並が2998食、400円の大が491食となっている。

放課後児童クラブの支援員から、

『みんなで同じお弁当を食べることが嬉しそうで嫌いなものも頑張つて食べている子もいる』と聞いている。

保護者の方からも、『管理栄養士によるメニューなので安心して注文できる』との意見をいただいております。事業の目的に対し一定の効果があつた。

今後とも保護者アンケートなどを行い、より保護者のニーズに即した事業となるよう検証していきたい。

【その他の質問】

問 ジェンダーギャップ解消に向けた市長の考えは。

答 地域の中で誰もが安心して暮らせるよう、多様な視点を生かしたまちづくりに取り組んでいく。

問 猛暑などの課題がある中、子どもたちの発育に大切な水泳授業を今後どう位置づけるのか。

答 近年の気候状況を考慮し、プール開きの期間を前倒しにしている。

実施時間を早め、活動時間を短縮するなど熱中症対策を十分行い、水泳授業の機会を確保している。



あさ ひこ
阿佐 勝彦

答

問

期日前投票に入場券がなくても投票可能であることを周知しては

引き続き、市民の方に浸透するよう周知に努めていく

問 7月3日木曜日に、参議院選挙が公示された。投票所への入場券の配達も同日から開始されたが、最後の家庭へは、月曜日の夕方配達となった。

土日に期日前投票を済ませたかつた有権者からは、『入場券が届かず、行けなかった。せめて、休日前に届けてくれないのか』との声があつた。

また、山間へき地の方の中には、投票所への交通手段がない方もいるため、移動投票所を実施しては。

答 投票所入場券について、基本的には投票所に持参していただくために送っているが、告示日または公示日以降に配達が始まるため、市民すべての方の手に届くまで数日かかることから、『入場券がまだ届かない、いつ届くのか』との問い合わせもいただいている。

入場券については、持参いただかない場合でも、当日に宣誓書に記入いただくことで受付はでき、入場券が届く前でも投票可能となっている。

移動投票所の実施については、現在検討していないが、県内自治体でも実施している団体があるため、調査研究したい。

問 政令では、告示日または公示日以降に入場券を速やかに交付することとなっているが、市の『入場券が届いてなくても投票できる』という考えと、有権者の『投票に行く以上は、入場券を持つて行きたい』との考えは乖離している。

期日前投票に入場券がなくても、投票可能であることを周知しては。

答 入場券の発送は、県選挙管理委員会に他の自治体の状況を問い合わせるなど、調査する。

引き続き、期日前投票が市民の方に浸透するよう周知に努めていく。

【その他の質問】

問 上水道の漏水事故に関する情報周知の対応は。

答 規模の大きな断水や濁りが発生した場合は、概要や原因等を市のホームページに掲載する。

問 今後の河川管理の方針は。

答 今後、国の緊急浚渫推進事業債を活用し浚渫を実施したい。

こどもDoまんなか会議2025開催

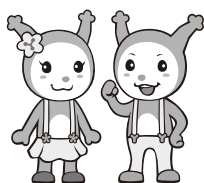
こどもDoまんなか会議とは、子どもたちが自らの考えや意見を伝え、政策づくりに主体的に関わる機会をつくり、子どもや若者に対する政策をより良くしていくための取り組みです。

吉野川市在住の小・中・高校生に加え、今年度からは大学生も参加し、参加者の投票で選ばれたテーマについてグループで話し合いました。市議会からは大人代表として岸田議長が参加し、子どもたちの意見を直接聞く貴重な機会になりました。



議会のうごき（6月～8月）

6月		5日	会派代表者会	9日	全員協議会	7月		3日	徳島県市町村議会議員公務災害補償等組合議会	4日	議会運営委員会 全員協議会	8日	令和7年度西条大橋治線改良促進期成会並びに国道318号改良促進期成会総会	11日	広報特別委員会 令和7年度国道193号（脇町・塩江間）整備促進期成同盟会定期総会	15日	徳島中央広域連合臨時議会	18日	新ごみ処理施設火入れ式
8月		25日	中央広域環境施設組合臨時議会	31日	会派代表者会	8月		1日	第25回四国土砂防災ネットワーク議員連盟総会	3日	第3回こどもDoまんなか会議	8日	徳島県町村議会議員研修会	21日	四国新幹線整備促進期成会	25日	議会運営委員会 広域農道吉野川中部地区新設促進期成同盟会総会		



行政視察受入状況

●令和7年10月15日

富山県砺波市議会

文教民生病院常任委員会 8名

日本遺産『藍のふるさと阿波』を
活用した地域活性化について



自宅から議会の状況を 視聴できます

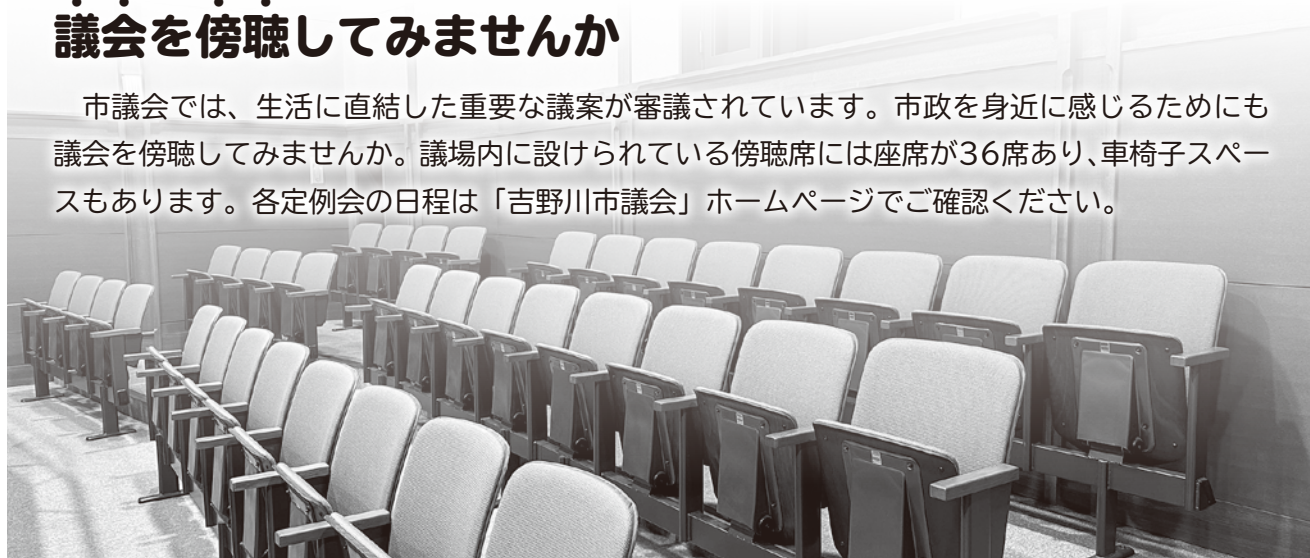
本会議および常任委員会は
ケーブルテレビで放送されています。

- 日本中央テレビ（111ch）
- ケーブルネットおえ（112ch）



議会を傍聴してみませんか

市議会では、生活に直結した重要な議案が審議されています。市政を身近に感じるためにも議会を傍聴してみませんか。議場内に設けられている傍聴席には座席が36席あり、車椅子スペースもあります。各定例会の日程は「吉野川市議会」ホームページでご確認ください。



訂正とお詫び

前回の議会だよりNo.83の掲載記事に誤りがありましたので、訂正してお詫びいたします。

《修正箇所》 18ページ 令和6年度会派行政視察報告

期 間：令和6年7月3日～4日 視察先：岡山県赤磐市、愛媛県今治市

《誤》	会派（視察者）	【吉野川政友会いろは】福岡正、阿佐勝彦、桒原五男、近久寛、中西渉
-----	---------	----------------------------------

《正》	会派（視察者）	【吉野川政友会いろは】福岡正、阿佐勝彦、近久寛、中西渉
-----	---------	-----------------------------

旬感 よしのがわ

立冬が過ぎ、暦の上では冬が始まるとされています。

日中はまだ日差しが温かく感じられる日もありますが、朝晩の冷え込みや、夕暮れの早まりに、確かに季節が一步步ずつ進んでいることを実感します。

立冬は冬への入口であると同時に、次の季節への備えと心構えを促す日でもあります。ただ寒さの始まりというだけでなく、「整える」季節でもあるのかもしれない。

身の回りのものを冬仕様に替えたり、自分の体調や心のペースを見直したり。

忙しい年末を迎える前に、ほんの少し立ち止まって、変わりゆく季節に目を向けてみてはいかがでしょうか。



クイズ

□に当てはまる言葉は何でしょう。



中山間地域交流拠点施設

？ (美郷)

たねのやは、旧種野小学校をリノベーションして地域の交流や体験、宿泊ができる施設です。

宿泊室のほかにもカフェスペースや多目的ホールなどがあり、石窯を使ったピザづくり体験もできます。

四季折々の自然を感じながら、ゆったりとした時間を楽しむことができます。

● 正解者の中から抽選で10名様に吉野川市の特産品を進呈します。議会事務局まで受け取りにお越しください。

● 応募方法 はがき、またはFAXにクイズの答えと郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号をご記入の上、吉野川市議会事務局までお送りください。応募の際に議会だよりについての感想や「チョットひと言」添えてみませんか。

● 応募先 〒776-8611 吉野川市議会事務局

TEL (0883) 22-2241

FAX (0883) 22-2242

● 締切日 令和7年12月26日(消印有効)

チョットひと言

★高越山といえば小らの宿泊学習。今となつては自然の家がなくなり寂しさもありますが、大声で『おこおつあん』と叫んだあの瞬間は、今も胸に焼き付いています。

(三田やま)

(前回の解答) 「高越山」

あとかき

『国民の祝日』に

ついて思うこと

『国民の祝日』は国民の

ですが、自分の国の歴史を知ることは、自分自身のルーツを知ることにもつながると考えます。

祝日に関する法律により、美しい風習を育てつつ、よりよき社会、より豊かな生活を築きあげるために定められた『国民こそ祝って祝い、感謝し、又は記念する日』で年間計16日が休日とされています。

祝日にはそれぞれ独自の意味や意義が込められており、その中の一つである『建国記念の日』は、政令により2月11日に定められています。

この日は『建国をしのび、国を愛する心を養う日』とされ、日本という国が成り立ったことについて思いをはせる日でもあり、日本の歴史や文化について改めて目を向ける機会を提供してくれま。

学校などではあまり詳しく教えられることが少ない



【編集委員】

委員長 中西 涉
副委員長 近久 寛
委員 戸出 敏夫
枝澤 幹太
菊川 充憲
岡田 光男